にいがた 社会参加推進センターだより

TEL・FAX 025-383-3654　URL http://suishin.n-fureaiplaza.com/　MAIL suishin@n-fureaiplaza.com

♪新潟県障害者芸術文化祭が開催されました♪

「第20回新潟県障害者芸術文化祭」が11月に開催されました。

美術展は11月1日（火）から6日間、新潟ふれ愛プラザにて開催されました。毎年多くの方々からご参加いただいているこの文化祭ですが、今年は233点の美術作品（4部門：絵画、書道、写真、工芸）が寄せられ、会場はバラエティーに富んだ数々で埋め尽くされました。また、文芸作品（4部門：短歌、俳句、川柳、自由詩）も98点と多くの作品が集まり、全ての文芸作品を一冊にまとめた「文芸作品集」が配布されました。

続く11月13日（日）は、新潟ユニゾンプラザにおいてステージ発表が行われ、日頃から一生懸命練習に励まれている6つの個人・団体による歌唱・器楽演奏・踊り等が披露され、会場は大いに盛り上がりを見せていました。

期間中は1,100人を超える多くの方々からご来場いただき、「とても感動した」「元気をもらった」等の声が数多く聞かれました。

第20回新潟県障害者芸術文化祭　受賞者一覧

●審査員特別賞（11名）

〈絵画〉Ray
〈絵画〉手塚里美
〈書道〉重村
〈写真〉原悠乃
〈工芸〉耀アカル
〈工芸〉健一と育男
〈短歌〉石岡ヒロ子
〈俳句〉三浦カズ
〈川柳〉古俣キヨ
〈自由詩〉レイ
〈ステージ発表〉リンコとオズの魔法使い

●県知事賞（9名）

〈絵画〉レイ
〈書道〉すきっぷ
〈写真〉大橋靭彦
〈工芸〉渡邊和子
〈短歌〉佐藤寧治
〈俳句〉白井正江
〈川柳〉小雪
〈自由詩〉権平愛奈
〈ステージ発表〉スペシャルオリンピックス日本・新潟ダンスチームH&D

●実行委員長賞（2名）

〈絵画〉魚沼更生園
〈工芸〉創作グループ

●アール・ブリュット賞（3名）

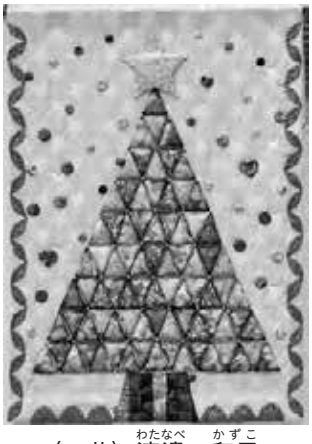
〈絵画〉本間葉子
〈工芸〉猪俣武
〈工芸〉粟森俊輔

※アール・ブリュット賞は、美術作品を対象とし、正規の美術教育等にとらわれず、独自の発想と方法により作成した感性豊かな作品に贈られます。

新潟県のホームページから受賞作品をご覧いただけます　第20回新潟県障害者芸術文化祭　検索

県知事賞受賞作品

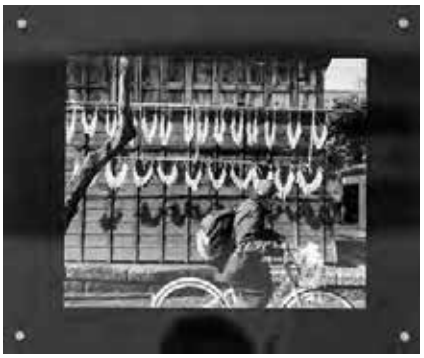
美術部門



〈工芸〉渡邊　和子
「森のクリスマスツリー」

〈書道〉すきっぷ「今の気分は？」

〈絵画〉レイ「孔雀」

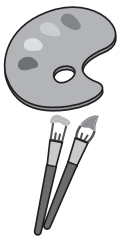


〈写真〉大橋　靭彦「師走の頃」

ステージ部門

〈ダンス〉スペシャルオリンピックス日本・新潟
ダンスチームH＆D

文芸部門



〈短歌〉佐藤　寧治
ウマオイが　いつ入ったのか
背もたれに
ひっそり乗って　我と旅する

〈俳句〉白井　正江
竹皮の　散る音数ふ　夜半かな

〈川柳〉小雪
梅雨明けて　ひまわりの花　笑ってる

〈自由詩〉権平　愛奈
「わたし」がいる
よく笑う
よくしゃべる
声がでかい
時々家族にうるさいと言われる
へこむこともあるけど
立ち直りが早い
緊張しいだけど
負けず嫌い
そんな「わたし」が好き
そんな「わたし」とずっと生きていく

障害福祉サービス事業所の紹介

障害者芸術文化祭の受賞者には、毎年、県内の障害福祉サービス事業所や施設で作られている製品を記念品として贈呈しています。

今年度は、『就労継続支援Ｂ型事業所ワークセンターミナと』の「ペーパークラフトトレーと石畳編みコースターセット」が贈られました。

今回は、記念品を作っていただいた『ワークセンターミナと』をご紹介します。

『就労継続支援Ｂ型事業所　ワークセンターミナと』

ワークセンターミナとは就労継続支援施設B型事業所です。平均年齢29.6歳と20～30代の方が多く、活気ある施設です。

クラフトテープ細工製作販売を通して、1つの商品を作りあげていく達成感や、みんなで取り組み完成する喜びを感じながら、働くことを通じて、社会性・協調性を学べる機会を得ています。また、知識や技術の向上を目指し、継続していくことの大切さを覚えながら活動しています。製品はとてもカラフルな色合いで製作され、個性が表現されています。

委託作業もおこなっていて、封入・封緘、たたみ等の作業も丁寧に行っています。細かい作業が得意です。公園清掃・除草作業も行っています。きれいな仕上げを心がけています。室内清掃、外清掃と清掃業務全般を得意としています。きっちり丁寧に仕上げ、地域との繋がりも大切にしています。